

がん患者が求める対話

～それぞれの活動を通して思うこと～

【日時】2018.12.8 (土) 14:00～16:00

【場所】恵泉女学園多摩キャンパス (スクールバス無料運行、駐車場あり)

【講師プロフィール】

杉山絢子 (すぎやま じゅんこ)

一般社団法人CAN net代表理事、札幌斗南病院腫瘍内科医長 自身が、患者・家族・医師の3つの立場を経験する中から、病院の外も巻き込んだ新しい仕組みの必要性を感じ2013年 非営利の一般社団法人 CAN netを設立。



樋野興夫 (ひの おきお)

医学博士。順天堂大学 医学部 (病理・腫瘍学) / 国際教養学部 教授 (併任)。一般社団法人 がん哲学外来 理事長。東京女子大学理事。恵泉女学園理事。1954年島根県生まれ。2008年に開設した「がん哲学外来」は、今年10周年となり、がん患者・家族の方々の駆け込み寺としても多く用いられている。著書に、「いい覚悟でいきる」(小学館)「がん哲学外来へようこそ」(新潮新書) 日本対がん協会賞「朝日がん大賞」日本癌学会賞「長与又郎賞」受賞

入場料
¥500
先着200名
事前予約制

【第一部 講演】

杉山絢子先生

【第二部 パネルディスカッション】

「がん患者が求める対話～それぞれの活動を通して思うこと～」

【パネリスト】

鈴木信行さん (患医ねっと代表 精巣がん・甲状腺がん罹患患者)

鈴木美和さん (アイビー千葉(乳ガン体験者の会)所属、運営委員)

小島紀子さん (乳がんステージIVサバイバー、保健師、精神保健福祉士)

阿蘇敏之さん (がんサロン おしゃべりバティー代表、精巣がん罹患患者)

砂川未夏さん (キャンサー・キャリア代表、悪性リンパ腫・乳がん罹患患者)

小林 真さん (CAN net東京事務局長、患者スピーカーバンク理事)

【第三部 総括、挨拶】

樋野興夫先生

【アクセス】

【路線バス】 多摩センター駅 (8番乗り場)、鶴川駅 (5番乗り場) より「恵泉女学園大学入り口」下車徒歩5分。「京王多摩車庫前下車」、徒歩10分。多摩市ミニバス東西線「豊ヶ丘5丁目」バス停下車、徒歩9分。

【スクールバス乗車場】：京王線中央口・小田急線西口改札を出て左に進みます。京王プラザホテル多摩 (三井住友銀行) の手前の階段を下るとバス乗り場があります。



参加申し込み・お問い合わせ

☎ & FAX : 042-314-2876 (FAXでお申し込みの方は、裏面のFAXシートをお使いください。)

✉ : oliveoft.c@gmail.com (脇濱まで)

主宰：市民と介護を考えるカフェ「オリーブの木」

代表 脇濱由佳

F A X 042-314-2876

主宰：「市民と介護を考えるカフェ『オリーブの木』」

多摩のシンポジウム
『がん患者が求める対話』

参加申込書

日時 2018年12月8日（土）14:00～16:00
会場 恵泉女学園多摩キャンパス
募集定員 200名様（事前申し込み/先着順）
受付期間 12月7日（金）まで
参加費 500円（当日お支払いください）

※受付完了の連絡はいたしません。定員を超えた場合のみ連絡差し上げます。
※参加できなくなった場合は、前日(12/7)までにお知らせください。
(TEL/FAX: 042-314-2876 脇濱まで)

氏名	
申し込み人数	
電話番号	
メールアドレス	
職業	

【個人情報の取扱】本申込書にていただいた個人情報は、適正に管理・保護します。
また、「市民と介護を考えるカフェ『オリーブの木』」の事業活動上必要な範囲に限定して利用し、目的以外の利用や第三者への情報提供は行いません。